

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 4 区分

【発行日】平成26年2月6日 (2014.2.6)

【公開番号】特開2013-185228(P2013-185228A)

【公開日】平成25年9月19日 (2013.9.19)

【年通号数】公開・登録公報2013-051

【出願番号】特願2012-52765(P2012-52765)

【国際特許分類】

C 2 5 D 1/04 (2006.01)

H 0 1 M 4/64 (2006.01)

H 0 1 M 4/66 (2006.01)

C 2 2 C 9/00 (2006.01)

C 2 5 D 1/00 (2006.01)

【F I】

C 2 5 D 1/04 3 1 1

H 0 1 M 4/64 A

H 0 1 M 4/66 A

C 2 2 C 9/00

C 2 5 D 1/00 3 1 1

【手続補正書】

【提出日】平成25年12月17日 (2013.12.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

X 線回折より得られたピーク強度比

$I(220)/I(200)$

が 3 以上である電解銅箔。

【請求項 2】

初期の引張強度が 600 MPa 以上である請求項 1 に記載の電解銅箔。

【請求項 3】

初期の引張強度が 600 MPa 以上で、300 、1 時間加熱後の引張強度が 450 MPa 以上である請求項 1 または 2 に記載の電解銅箔。

【請求項 4】

請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の電解銅箔を用いた二次電池用負極集電体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明の電解銅箔は、X 線回折より得られたピーク強度比

$I(220)/I(200)$

が 3 以上である電解銅箔である。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

本発明は、X線回折より得られたピーク強度比、 $I(220)/I(200)$ 、を3以上とした電解銅箔とすることで、300、1時間加熱後の引張強度が450MPa以上で、耐熱性に優れる合金電解箔を提供することができる。